


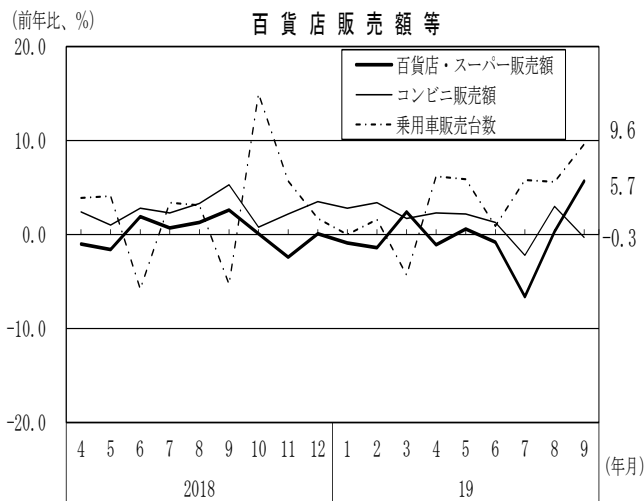
●最近の県内経済

基調判断
(2019年9月を中心として)



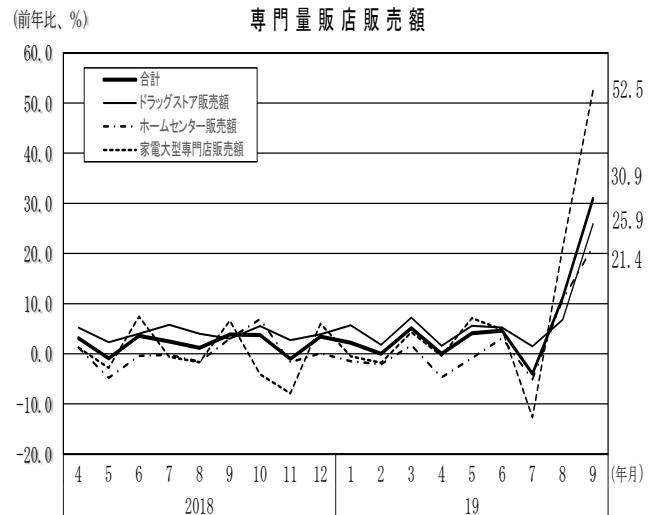
今月の概要
県内景気は、弱含んでいる。

1 個人消費 持ち直し



(資料) 経済産業省、埼玉県自動車販売店協会など

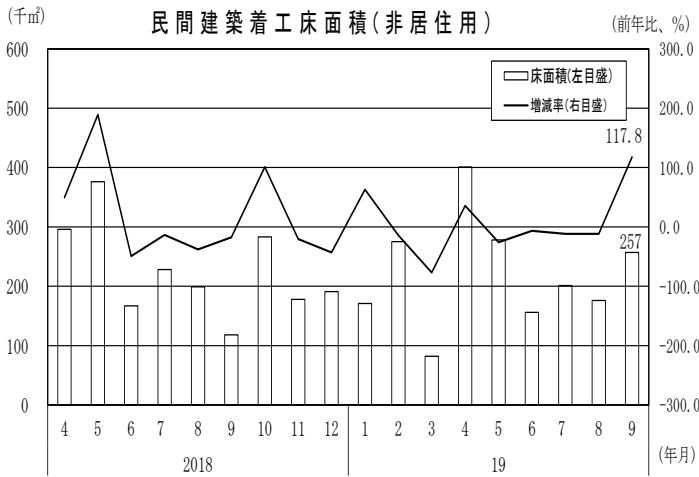
9月の百貨店・スーパー販売額(店舗調整前)は、850億円で前年比5.7%増と2か月連続の増加となった。コンビニ販売は同0.3%減となる一方、百貨店が消費税率引上げ前の駆け込み需要増などから同11.1%増と11か月ぶりの増加となったほか、スーパーも同4.6%増となった。乗用車販売は、同9.6%増と堅調に推移している。内訳をみると、普通車(同10.6%増)、小型車(同11.0%増)、軽乗用車(同7.2%増)いずれも増加した。



(資料) 経済産業省

9月の専門量販店販売額は、792億円で前年比30.9%増と2か月連続の増加となった。内訳をみると、家電大型専門店が214億円で同52.5%増と大幅に増加したほか、ドラッグストアが385億円で同25.9%増、ホームセンターも192億円で同21.4%増と、ともに高い伸びとなった。

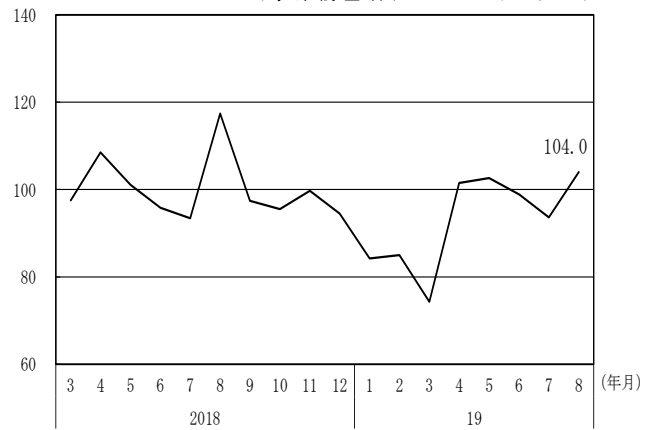
2 設備投資 弱含み



(資料)国土交通省

9月の民間建築着工床面積(非居住用)は、257千㎡で前年比117.8%の増加となった(年初来累計では同7.9%減少)。用途別にみると、店舗は減少したものの、事務所、工場及び作業場、倉庫が増加した。

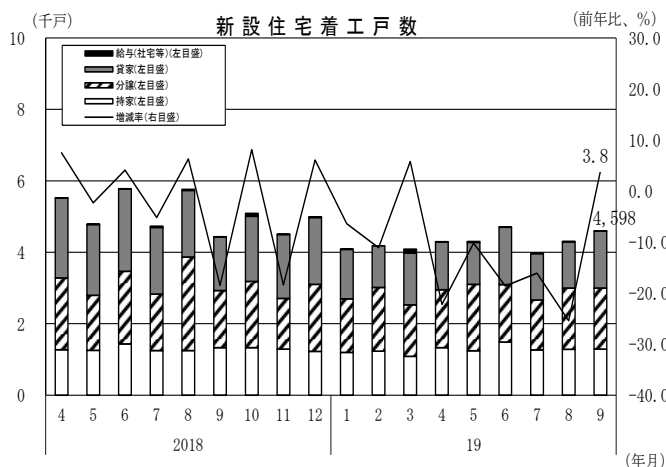
資本財出荷指数
(季節調整済) (2015年=100)



(資料)埼玉県

8月の資本財出荷指数(季節調整済)は、104.0で前月比11.1%の上昇となった(3か月ぶりの上昇)。

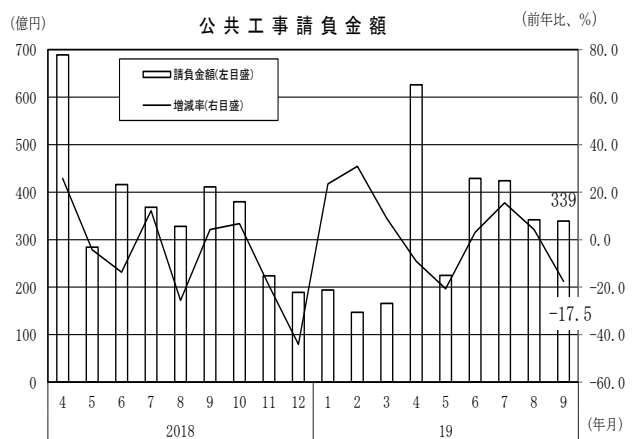
3 住宅建設 減少



(資料)国土交通省

9月の新設住宅着工戸数は、4,598戸で前年比3.8%増と6か月ぶりの増加となった(年初来累計では同12.3%減少)。利用関係別にみると、持家が1,290戸で同3.2%減、分譲戸建てが1,268戸で同2.2%減となった一方、貸家が1,590戸で同5.9%増、分譲マンションも433戸で同58.0%増となった。

4 公共工事 横ばいの動き

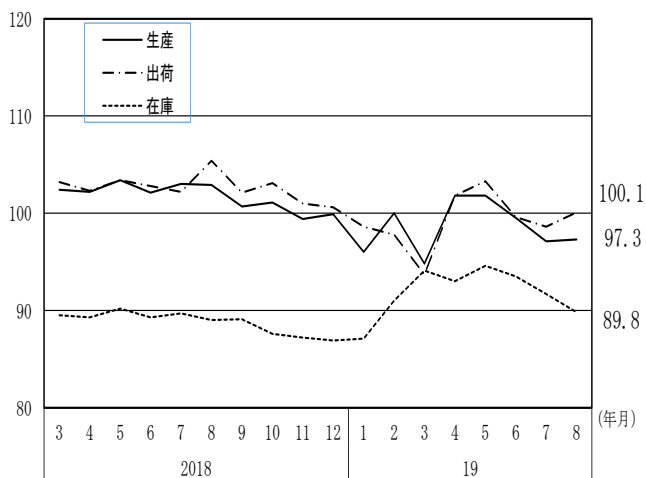


(資料)東日本建設業保証株式会社

9月の公共工事請負額は、339億円で前年比17.5%減となった(年初来累計では同0.9%減少)。発注者別でみると、都道府県、市区町村が増加した一方、国、独立行政法人等が減少した。

5 生産活動 一進一退

鉱工業生産・出荷・在庫指数(季節調整済) (2015年=100)



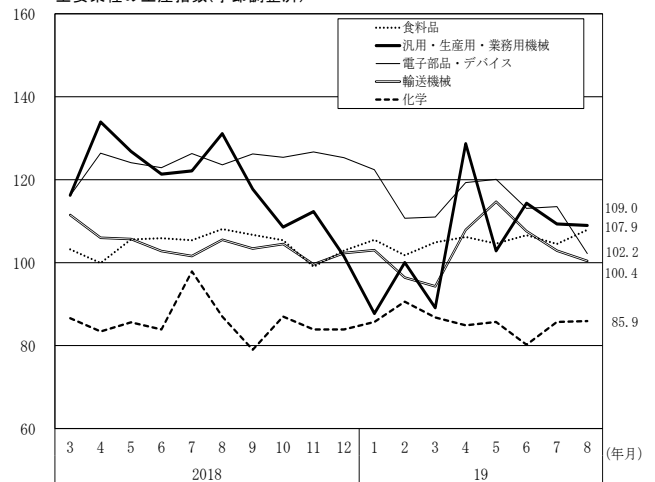
(資料)埼玉県

8月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、97.3で前月比0.2%上昇した(3か月ぶりの上昇)。電子部品・デバイス(混成集積回路)、生産用機械(フラットパネル・ディスプレイ製造装置)などが低下したが、業務用機械(医療用機械器具)、窯業・土石(生コンクリート)などが上昇した。

出荷指数(同)は、100.1で同1.5%上昇した(3か月ぶりの上昇)。輸送機械(乗用車)、プラスチック製品(プラスチック製容器)などが低下したが、業務用機械(医療用機械器具)、情報通信機械(カーナビゲーション)などが上昇した。

在庫指数(同)は、89.8で同2.1%低下した(3か月連続の低下)。輸送機械(乗用車)、パルプ・紙・紙加工品(段ボール原紙)などが上昇したが、化学(印刷インキ)、電気機械(電気掃除機)などが低下した。

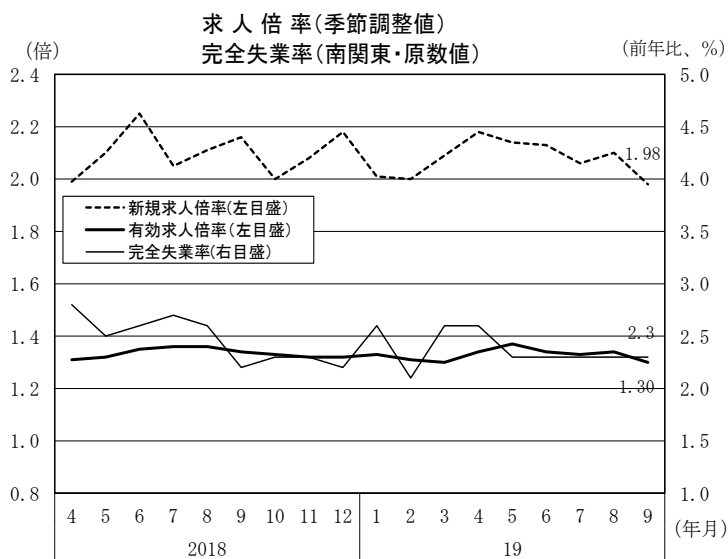
主要業種の生産指数(季節調整済) (2015年=100)



(資料)埼玉県

- ◆ 食料品の生産指数(季節調整済)は、107.9で前月比3.3%上昇し、2か月ぶりの上昇となった。
- ◆ 汎用・生産用・業務用機械(同)は、109.0で同0.3%低下し、2か月連続の低下となった。
- ◆ 電子部品・デバイス(同)は102.2で同10.0%低下し、2か月ぶりの低下となった。
- ◆ 輸送機械(同)は、100.4で同2.4%低下し、3か月連続の低下となった。
- ◆ 化学(同)は、85.9で同0.2%上昇し、2か月連続の上昇となった。

6 雇用情勢 着実に改善



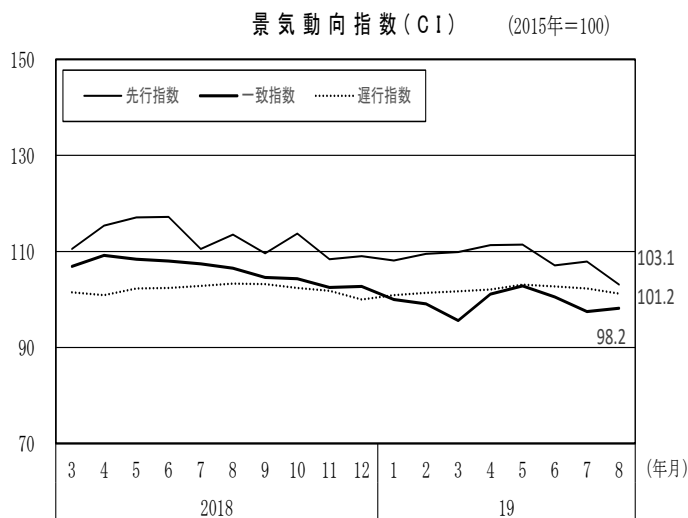
(資料)厚生労働省、総務省

9月の新規求人倍率(季節調整済)は1.98倍で前月比0.12ポイント、有効求人倍率(同)は1.30倍で同0.04ポイント、ともに低下した。

完全失業率(南関東、原数値)は、前月比横ばいの2.3%と低水準で推移している。

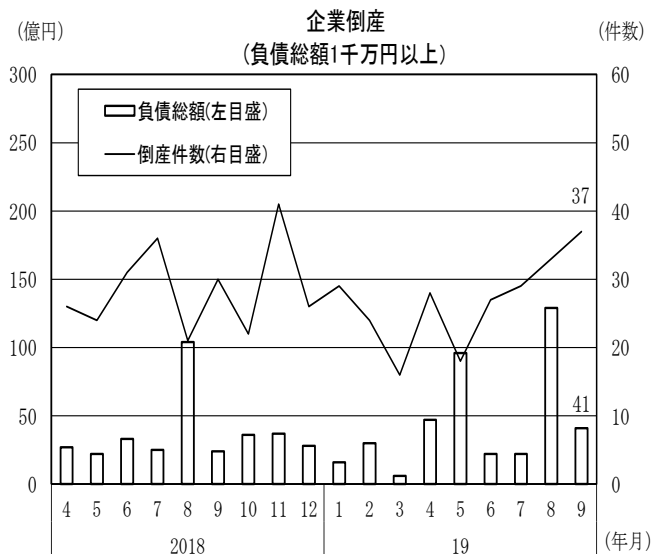
〈参考〉

景気動向指数(CI) 下げ止まりを示している



(資料)埼玉県

7 企業倒産 件数、金額とも増加



(資料)帝国データバンク

9月の企業倒産件数は、37件で前年比7件の増加、負債総額も、41億円で同17億円の増加となった。

業種別にみると、建設業が12件で最も多く、次いでサービス業が9件、製造業が8件となっている。主因別では、販売不振が32件で最も多くなっている。

8月のCI一致指数(景気の現状を示す)は、98.2で前月比0.7ポイント上昇し、3か月ぶりの上昇となった。

CI先行指数(景気の数か月先を示す)は、103.1で同4.8ポイント低下し、2か月ぶりの低下となった。

CI遅行指数(景気に遅れて反応する)は、101.2で同1.1ポイント低下し、3か月連続の低下となった。